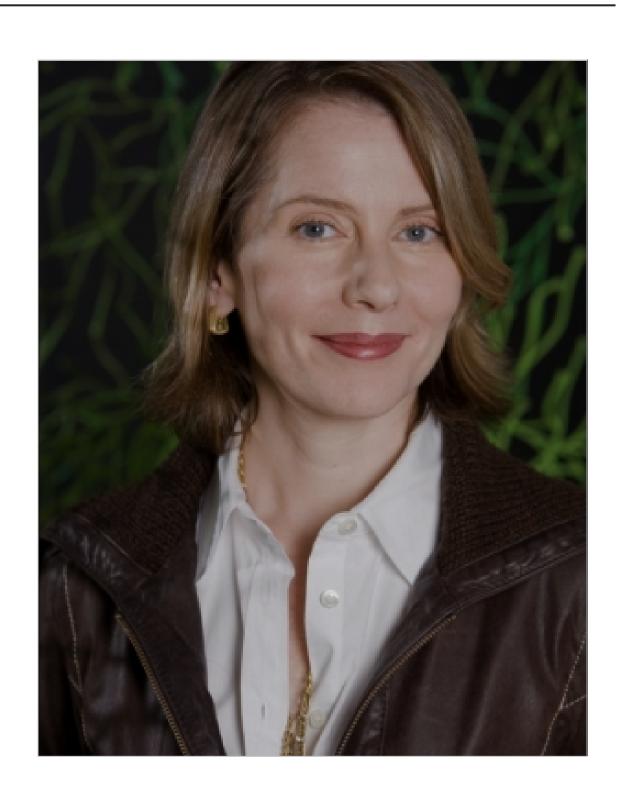


パオラ・アントネッリ

2211113 福島葵



[経歴と背景] ———



- イタリア出身(1963年生まれ)
- 建築家、デザインキュレーター、思想家
- MoMA(ニューヨーク近代美術館)デザイン部門 のシニアキュレーター
- ミラノ工科大学で建築を学ぶ
- ドモス・アカデミーでデザイン研究
- 1994年よりMoMA勤務
- 数多くの展覧会をキュレーション(企画)
- 「デザインと社会」「テクノロジー」「日常生活」へのアプローチで世界的な評価



[代表的な展覧会] —

「Mutant Materials in Contemporary Design」(1995)

近代素材と未来のプロダクトに着目 当時はまだ珍しかったカーボンファイバーやシリコンなどの応用を紹介

「Design and the Elastic Mind」(2008)

科学とデザインの融合をテーマに 情報デザイン、ナノテク、バイオテクノロジーなど未来技術を紹介 世界中のクリエイターに大きな影響を与える



哲学:デザイン=社会的インフラ

- デザインを「インフラ」としてとらえる 視点
- ・椅子や建物だけでなく、アルゴリズム、 法制度、感染症対策まで「デザインの対象」
- COVID-19対応でも「緊急デザイン」の 必要性を訴える

彼女の影響と評価

- タイム誌「世界で最も影響力のある100人」に 選出(2009)
- 多くの若手デザイナーに影響を与える思想家
- MoMAに"インターフェース"や"デジタルプロ ダクト"を常設展示させた先駆者



[まとめ] ――

なぜ今、彼女なのか?

- 複雑化する社会で「思考するデザイン」が求められる
- 美しさだけではなく、**「つながり」「問い」「未来」**に向き合う
- パオラ・アントネッリは、"デザインの未来"を先導する存在

